

3 重点施策及び実施事業

「北九州市上下水道事業中期経営計画」に基づき、安全・安定的な水の供給から污水处理・雨水排除まで一連の水循環を担う市民生活に直結する上下水道インフラの維持・強化に取組む。また、本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用し、上下水道事業の広域化や海外事業の推進に取組む。

(1) 昨今の豪雨、地震などの災害の頻発化に備える「災害等の危機管理対策」

- ・施設の耐震化 ・平成25年7月豪雨などに対応する浸水対策
- ・平成28年1月の記録的な寒波を踏まえた寒波対策の充実

(2) 高度経済成長期に急速な整備をした「経年化施設の長寿命化・更新」

- ・アセットマネジメント手法を活用した更新投資の平準化
- ・長寿命化計画に基づく補修・補強

(3) お客さまニーズの高い「安全・安心でおいしい水の供給」

- ・水安全計画に基づく残留塩素の適正化
- ・アクアフレッシュ事業による学校直結式給水の推進

(4) 温室効果ガスの発生量や川・海への汚濁負荷量を抑制する「環境負荷の低減」

- ・合流式下水道の改善による水環境の保全 ・汚泥やエネルギーの有効利用

(5) 本市が持つ技術力・経験を最大限に活かした「国内外に貢献する上下水道」

- ・市内企業、(株)北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化による海外水ビジネスや広域化の推進

(6) 料金収入の減少などに対応するため「収支バランスを踏まえた経営基盤の強化」

- ・更なる行財政改革の推進 ・支払利息の軽減や汚泥燃料化などによる経費節減
- ・水道用水及び工業用水の供給拡大や排水受入による増収対策

参 考

■計画の位置付け

本計画は、本市の基本構想・基本計画である「元気発進!北九州」プランをはじめ、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「連携中枢都市圏構想」及び「北九州市公共施設マネジメント基本計画(社会インフラ版)」などの市の計画や、国の「新水道ビジョン」、「新下水道ビジョン」の目指すべき方向性を踏まえた5年間の計画(平成28～32年度)とする。また、本計画は、本市の「水道事業ビジョン」、「経営戦略」としても位置付けている。

